

ペットに関するアンケート調査結果

生活衛生課

1 調査目的

県では、動物の愛護と適正飼養の推進を目的とした「岐阜県動物愛護管理推進計画(令和3～令和12年度/令和7年度見直し予定)」を策定し、各保健所及び動物愛護センターで様々な取り組みを実施しています。

県民の皆さんの動物愛護に対する意識の動向等を把握し、今後の施策の基礎資料とさせていただきますため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象: 県政モニター802人(郵送モニター:305人 インターネットモニター:497人)

調査方法: 郵送及びインターネット

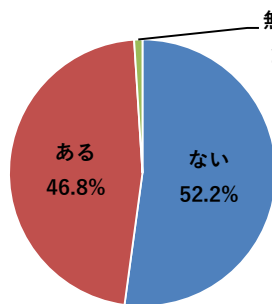
調査期間: 令和4年10月12日～10月31日

回収結果: 696人(回収率:86.8%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

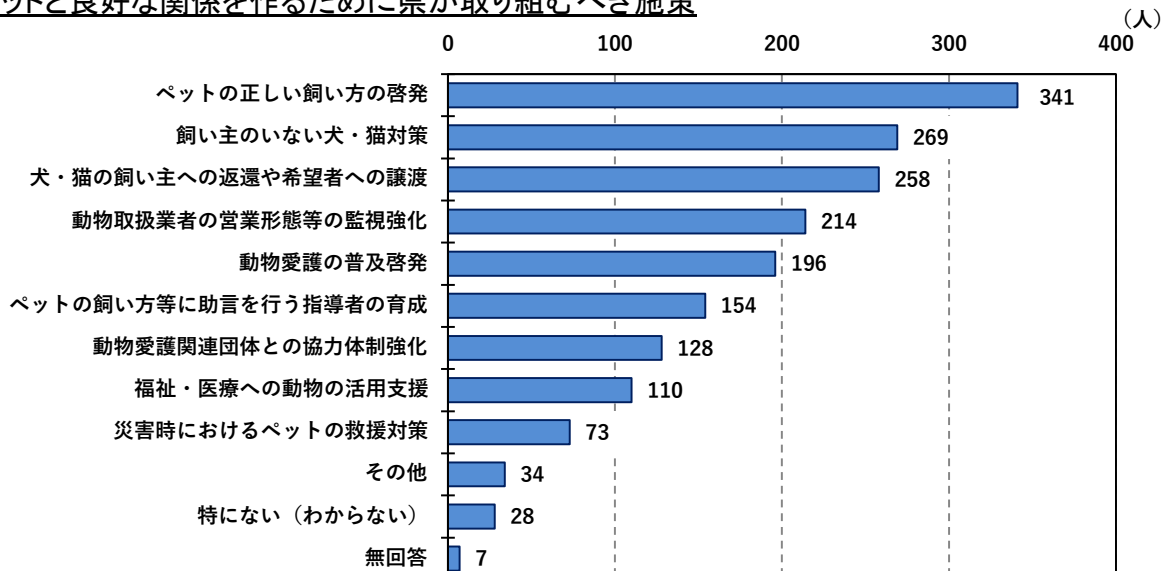
他人のペットを迷惑だと感じたことはあるか



「ある」の具体的な内容(主なもの)

- ・糞尿による被害
- ・早朝、夜間の鳴き声
- ・放し飼い、リードなしでの散歩
- ・他人の敷地内への侵入

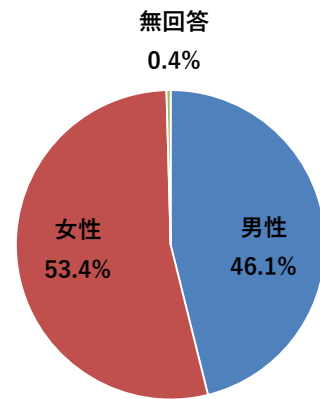
ペットと良好な関係を作るために県が取り組むべき施策



4 回答者属性

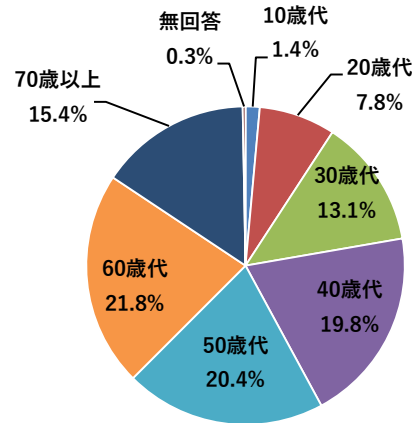
(1) 性別

	人数	割合
男性	321	46.1%
女性	372	53.4%
無回答	3	0.4%
計	696	100.0%



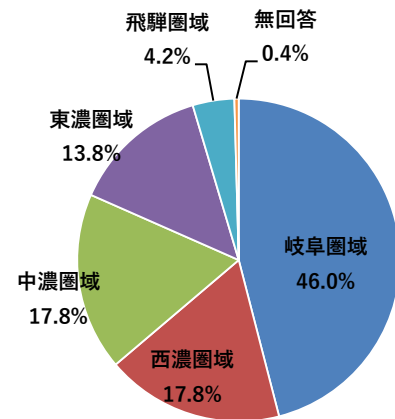
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	10	1.4%
20歳代	54	7.8%
30歳代	91	13.1%
40歳代	138	19.8%
50歳代	142	20.4%
60歳代	152	21.8%
70歳以上	107	15.4%
無回答	2	0.3%
計	696	100.0%



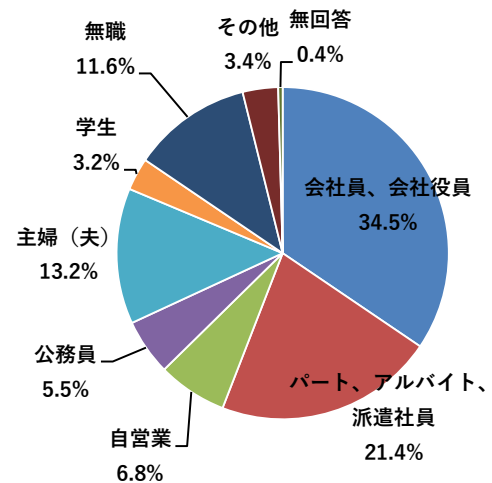
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	320	46.0%
西濃圏域	124	17.8%
中濃圏域	124	17.8%
東濃圏域	96	13.8%
飛騨圏域	29	4.2%
無回答	3	0.4%
計	696	100.0%



(4) 職業別

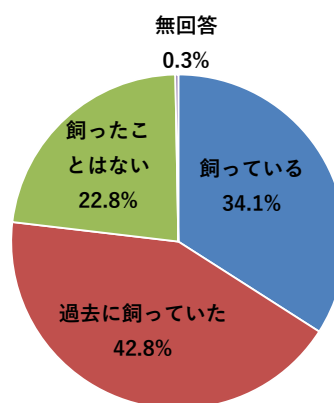
	人数	割合
会社員、会社役員	240	34.5%
パート、アルバイト、派遣社員	149	21.4%
自営業	47	6.8%
公務員	38	5.5%
主婦(夫)	92	13.2%
学生	22	3.2%
無職	81	11.6%
その他	24	3.4%
無回答	3	0.4%
計	696	100.0%



5 調査結果

問1 あなたは、ペットを飼っていますか。

	回答数	割合
飼っている	237	34.1%
過去に飼っていた	298	42.8%
飼ったことはない	159	22.8%
無回答	2	0.3%
計	696	100.0%

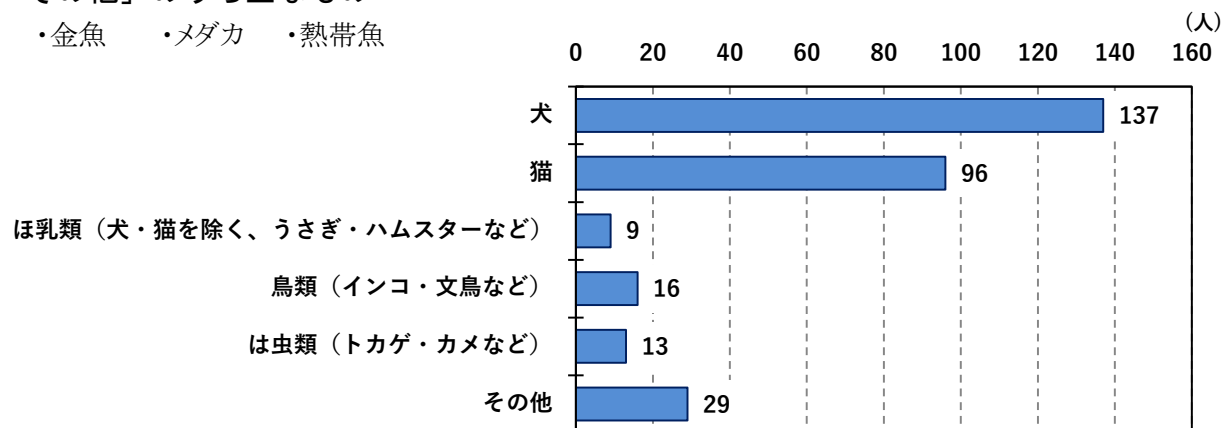


問2 【問1で「飼っている」と答えた方にお尋ねします】
あなたは、現在、どのようなペットを飼っていますか。
回答者 237人（複数回答）

	回答数	割合
犬	137	57.8%
猫	96	40.5%
ほ乳類(犬・猫を除く、うさぎ・ハムスターなど)	9	3.8%
鳥類(インコ・文鳥など)	16	6.8%
は虫類(トカゲ・カメなど)	13	5.5%
その他	29	12.2%
計	300	-

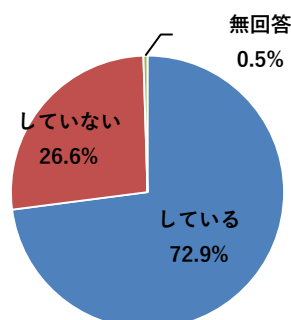
「その他」のうち主なもの

・金魚 ・メダカ ・熱帯魚



問3 【問2で「犬」または「猫」と答えた方にお尋ねします】
あなたは、飼っている犬・猫に対して不妊・去勢手術をしていますか。
回答者 207人

	回答数	割合
している	151	72.9%
していない	55	26.6%
無回答	1	0.5%
計	207	100.0%



「していない」理由のうち主なもの

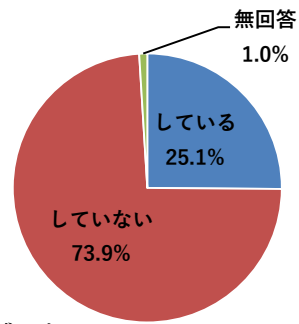
・管理できるから不要である。(室内飼育で他の犬猫と接触しない等)

問4 【問2で「犬」または「猫」と答えた方にお尋ねします】

あなたは、飼っている犬・猫にマイクロチップを装着していますか。

回答者 207 人

	回答数	割合
している	52	25.1%
していない	153	73.9%
無回答	2	1.0%
計	207	100.0%

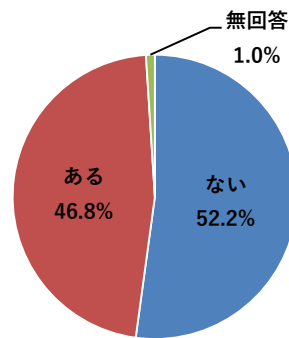


「していない」理由のうち主なもの

- ・室内飼育で迷子にならないから不要である。
- ・必要性を感じない。
- ・マイクロチップのことがよくわからない。

問5 あなたは、他人のペットを迷惑だと感じたことはありますか。

	回答数	割合
ない	363	52.2%
ある	326	46.8%
無回答	7	1.0%
計	696	100.0%



「ある」の具体的な内容（主なもの）

- ・糞尿による被害 ・早朝、夜間の鳴き声
- ・放し飼い、リードなしでの散歩 ・他人の敷地内への侵入

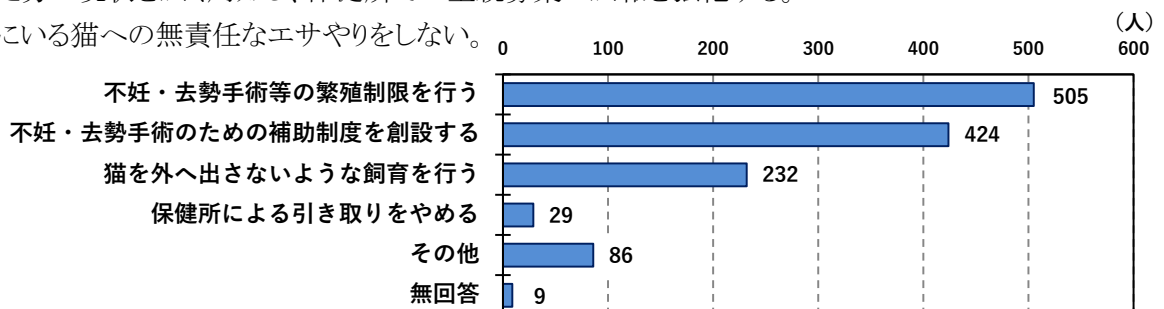
問6 あなたは、どうすれば殺処分される子猫を減らすことができますか。

回答者 696 人（複数回答）

	回答数	割合
飼い主が自己責任で不妊・去勢手術等の繁殖制限を行う	505	72.6%
飼い主が不妊・去勢手術を受けやすいよう補助制度を創設する	424	60.9%
猫を外へ出さないような飼育を行う	232	33.3%
保健所による引き取りをやめる	29	4.2%
その他	86	12.4%
無回答	9	1.3%
計	1,285	-

「その他」のうち主なもの

- ・生体販売を禁止する、ペットの購入を免許制にするなど、ペットの売買の規制を強化する。
- ・猫も犬同様に登録制にして、登録者全員が不妊・去勢手術等を行うようにする。
- ・殺処分の現状を広く周知し、保健所での里親募集の広報を強化する。
- ・外にいる猫への無責任なエサやりをしない。



問7 あなたは、ペットとの良好な関係をつくるために、県はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。

回答者 696 人（複数回答）

	回答数	割合
ペットの正しい飼い方の啓発(しつけ方教室の開催等)	341	49.0%
飼い主のいない犬・猫対策(不妊・去勢手術費の助成等)	269	38.6%
保護された犬・猫の飼い主への返還や希望者への譲渡	258	37.1%
動物取扱業者(ペットショップなど)の営業形態等の監視強化	214	30.7%
動物愛護の普及啓発(小学生を対象にした動物愛護教室の開催等)	196	28.2%
ペットの飼い方等に助言を行う指導者の育成(動物愛護推進員研修の開催等)	154	22.1%
動物愛護関連団体との協力体制強化(譲渡活動の推進、ボランティアの育成等)	128	18.4%
福祉・医療への動物の活用支援(アニマルセラピーなど)	110	15.8%
災害時におけるペットの救援対策(被災動物の収容施設の設置等)	73	10.5%
その他	34	4.9%
特にない(わからない)	28	4.0%
無回答	7	1.0%
計	1,812	-

「その他」のうち主なもの

- ・ペットを飼う予定の人や飼っている人を対象とした講習を義務付ける。
- ・ペットの登録義務化
- ・ペットの衝動買いを防ぐため、生体販売の禁止など動物取扱業者への規制を強化する。

